

号外

いわき民報

• THE IWAKI MINPO •

2020年(令和2年)8月15日(土曜日)

いわき市平字田町63-7
いわき民報社
本社 (0246)23-1666
FAX (0246)23-8275
みなみ支社 (0246)75-2202
FAX (0246)75-2205
<http://www.iwaki-minpo.co.jp/>
© いわき民報社 2020

磐城 Play Hardの精神貫く

2020年甲子園高校野球交流試合

磐城、惜しくも1点差で敗れるも最後までPlay Hardの精神で躍動! — 新型コロナウイルスの感染拡大で春のセンバツ、夏の選手権大会が中止となる中、3年生を中心とした高校球児たちに甲子園球場でプレーのチャンスを、と開催された「2020年甲子園高校野球交流試合」。

第4日の15日、真夏の太陽が照りつける聖地で、第2試合に登場した磐城は東京代表の國士館と対戦。先制し、逆転されても追いつく粘りを見せたが、3-4で敗れた。25年ぶりに甲子園へ戻ってきたコバルトブルーのユニホーム。選手の家族やチーム関係者のみに許されたスタンンドでの直接応援だけでなく、遠くいわき市からも、磐城高校内では生徒や教職員が、市内で開かれたパブリックビューイング会場では大勢の市民が、映像を通じて選手たちに熱い声援を送っていた。

△15日・第2試合
（甲子園）
磐城 0-0
0200001000 3
0030001000 X 4
国士館
（磐）沖一岩間
（国）中西一吉田
△二塁打＝水村（国）

試合時間1時間58分。
磐城ナインは、新型コロナウイルスの感染拡大により一度は諦めた憧れの甲子園球場で全力プレーを見せた。いわゆる“夏のセンバツ”。勝つても負けても1試合だけという特別な大会だ。それでも3年生たちは、巡ってきた最後のチャンスに最高のプレーを見せてくれた。

昨秋の東京都大会を制した強豪・國士館との試合。先制したのは磐城だ